

普通期米 中干しから穂肥管理

1. 生育状況

本年の普通期米については、5月11日に梅雨入り（平年6月5日）し、入梅後は少雨となり田植えはやや水不足で推移し、田植え後の生育は概ね良好となっていますが、水が少ない圃場では、ジャンボタニシによる食害、雑草が散見されます。

今後は、中干しから穂肥・出穂時期を迎えるため、生育時期に合わせて適切な管理を徹底しましょう。

2. 水管理

中干しは大変重要な管理となります。分けつが確保出来ないほ場では軽めの中干しを実施しましょう！！

中干し後から出穂前7日までは間断灌水を実施し、溜めっぱなしにならない様に心がけましょう。

出穂7日前（オオバラの時期）から出穂7日後までは深水管理を行う。出穂後は、間断灌水を実施し、水が確保できる場合には夜間は水のカケ流しを実施し、地温を下げましょう。

中干しは黒乾状態を維持し、極端な乾かしすぎ（白乾状態）に注意して下さい。また、穂肥時期は、肥料が溶ける程度の水があれば十分です。

田植え前にケイ酸加里を入れてない場合、出穂45日前（中干し開始頃）に30kg/反を施用しましょう！！（充実向上、屑米減少）

3. 穂肥目安

穂肥は、収量に影響を与える大変重要な作業となります。ほ場毎に生育状況を観察し適切な施肥を実施する必要があります。穂肥は、必ず2回に分けて施用しましょう。（穂肥一発以外）

（葉色）夢つくし・元気つくし 4.2、ヒノヒカリ 3.8、にこまる 4.0 茎数 20本基準

（ハイマート C50・ハイライス 50 を施用） ※2回目の時期は1回目の施肥後1週間頃行なう。

	夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	にこまる
6/10～6/20 田植え	1回目 7/17～7/23 ① 20kg ②10kg	1回目 7/23～7/29 ① 15kg ②15kg	1回目 8/3～8/8 ①15kg ②15kg	
6/20～ 田植え	1回目 7/22～7/28 ① 20kg ②10kg	1回目 7/27～8/3 ② 15kg ②15kg	1回目 8/7～8/13 ①15kg ②15kg	1回目 8/10～8/17 ①15kg ②15kg

◎穂肥一発 206を使用する場合は一回目の時期に15～20kgを施用しましょう。

◎葉色の判断・・・葉色板を使用する場合は、太陽に背を向け3～4m先の葉を見て判断する。

葉色板を使用しない場合は、畔に生えているイネ科の雑草と同色であれば、3.8と判断します。

◎増収のポイントは、穂肥全体量の2～3割を畔回りに施用をする。

◎野菜跡、堆肥投入田等、葉色の濃い田は、色が落ちれば2回目の時期に色直し程度の施肥を行う。

4. 病害虫

ウンカ	現在、ウンカの飛来は平年より早い飛来となっており、今後も発生する可能性があります。圃場の確認や稲作情報に十分注意しましょう。
いもち病	現在までいもち病発生は平年並みですが、 <u>今後の天候によっては大きく左右されるので、田周りをしっかりと行い、よく観察しておく必要があります。</u> ★使用薬剤 ワイドナーエース粉剤 DL 3～4 kg/10a または、 ノンブラスフロアブル 1000倍
紋枯病	昨年発生した圃場は発生が予想されます。また、 <u>高温で発生を助長するため注意！！</u> ★使用薬剤 ワイドナーエース粉剤 DL 3～4 kg/10a または、 バリダシン液剤 1000倍

5. 雑草対策

雨等により除草剤が散布できていない圃場については、中期除草剤でしっかりと対策を行きましょう。

ヒエ	液剤	クリンチャーEW ノビエ5葉期まで 薬量 100cc を水 70～100ℓに入れる。 落水後に処理
	粒剤	ワンステージ1キロ粒剤 ノビエ4葉期まで 1kg/10a 湛水散布
広葉雑草	液剤	バサグラン液剤 イネ科を除く1年生雑草 薬量 500cc～700cc を水 70～100ℓに入れる。 落水後に処理
	粒剤	バサグラン粒剤 イネ科を除く1年生雑草 3～4kg/10a 湛水処理
ヒエ 広葉雑草	液剤	クリンチャーEW+バサグラン液剤 （適用、薬量は上記参照） クリンチャーバスME ノビエ5葉期まで 薬量 1000cc を水 70～100ℓに入れる。 落水後に処理
	粒剤	イッソウ1キロ粒剤 （収穫60日前まで） ノビエ4葉期まで（収穫60日前まで） 1kg/10a 湛水散布 水が少ない場合は、極浅水でヒエクリーンバサグラン ノビエ4葉期まで（収穫60日前まで） 3kg/10a <u>極浅く湛水散布</u>

※雑草が小さいほど効果が高いため、除草剤は早めに散布する。雑草が残ると穂肥を取られ、風通しが悪くなり病害虫の発生を助長するなど、様々な問題を引き起こします。

※農薬散布の際は、周辺作物等に飛散がないよう十分注意してください！！

以上の管理を徹底し、高品質・高収量を目指し、1俵でも多くのお米を農協へ出荷して頂きます様、宜しくお願い致します。

※栽培履歴の随時適正記帳を行きましょう！